

「人の想いをカタチにする」を理念に お客様一人ひとりに寄り添う事業を推進



京都市西京区桂に事務所を構え、京都市内に8カ所の営業所を展開する「BESTPLAY」。衣類・繊維製品にオリジナルのプリントや刺しゅうを施すマーキングをメインに、ノベルティグッズやメモリアルグッズ、看板などの制作も手掛けている。「人の想いをカタチにする」を企業理念に、お客様一人ひとりに寄り添った商品・サービスの提供を行っている同社を、元プロ野球選手の今江敏晃氏が訪問。吉田社長にお話を伺った。



ゲストインタビュー
今江 敏晃

Guest Comment

「競技人口の減少という現実を見据え、クリエイター支援や推し活関連の新規事業に挑むなど、伝統を守りつつも攻めの姿勢を持っている吉田社長。さらに周りのあらゆる方々を大事にしようという想いが強く、誰からも信頼され、愛される、素晴らしい経営者だと感じましたよ。今後のさらなるご活躍が楽しみです！」

御社はあなたが創業されたのですか。私の父です。父は元々スポーツ用品店に勤めていて、独立にあたって「資金がそれほどからず、すぐに始められる仕事」と考え、このマーキングの受注加工業を始めました。スポーツ用品店から商品をお預かりし、そこにチーム名やネームを入れて納品する、いわば在庫を持たない仕事ですね。創業当初は自宅で、家内工業のような形でやっていた。私が小学3年生くらいまではその環境だったので、当時のことはよく覚えています。お客様との距離も近く、皆さんに温かく接していただいた記憶があります。その後、別の場所に工場ができてからは、両親はほとんどそちらに詰りつきり。忙しくてなかなか家に帰れなかった。母とは交換日記をしていたくらいでした(笑)。

いずれば吉田社長が継ぐことを期待されていたのでしょうか。いえ、「女の子に苦勞はさせたくない」という想いがあったようで、当初は後継者としては考えていなかったようです。私も身も、両親の大変さを間近で見ていたので、継ぎたいとは思っていませんでした。それで社会人としてのスタートは、アパレル関係の婦人雑貨の営業職に就きました。父もその選択を喜んでいましたね。仕事にも遊

てほしいですね。素敵な取り組みですね。これからは、良い組織になっていくと思いますよ。ありがとうございます。管理者も育っており、組織として安定してきましたので、今後はさらに上を目指して成長していくことがテーマです。具体的には、この2〜3年で市場の拡大を進めつつ、新規事業も育てていきたいと考えています。

最後に、スタッフの皆さんへメッセージをお願いします。当社の理念として掲げている言葉は「人の想いをカタチにする」です。1つ目はおお客様の想い、2つ目は挑戦する想い。そして3つ目として「従業員の想いをカタチにすること、働く喜びを持つ会社」を掲げています。働く喜びは人それぞれですが、「ここで働いて良かった」と皆に思ってもらうことが、経営者としての私の役割。これからの環境づくりに努めていきますので、従業員の皆さんにも主体的に関わっていただき、会社と共に成長していけたら嬉しいですね。

断をしました。そこから5年後の代替わりを見据えてプレイングマネージャーとして経験を積み、8年前に正式に引き継ぎました。経営者としてはどのような取り組みを進めてこられたのでしょうか。

大きく変えたのは、基本的にトップダウン型だった組織をボトムアップ型にしたことです。良かれと思つての改革でしたが、以前のやり方に慣れていたスタッフには受け入れがたい部分もあったようで、結果として3割ほどが退職することになったので



代表取締役
吉田 由美

す。当時は本当にショックでしたが、「人によって受け取り方は違う」ということや、「想いは伝え方が大事」ということを学びました。それ以降は、何かを伝える際には必ず理由も含めて説明し、その先にどう繋がるのかまで考えて話すようにしています。現在の体制はいかがですか。グループ全体で65名になりました。正社員、パートとアルバイトで半々くらいです。ね。平均年齢は37〜38歳と同業他社より若く、新卒からベテランさんまで幅広い環境づくりに力を入れています。私自身、子どもが幼いころに十分な時間を取れなかった。スタッフには同じ想いをさせたくなくて、運動会などの行事にはできる限り配慮していますし、年に1回はスタッフの子どもたちを招いて、Tシャツ作りの体験イベントも行っていきます。私が親を尊敬できたように、スタッフの子どもたちにも親の仕事を理解して尊敬するようになっ

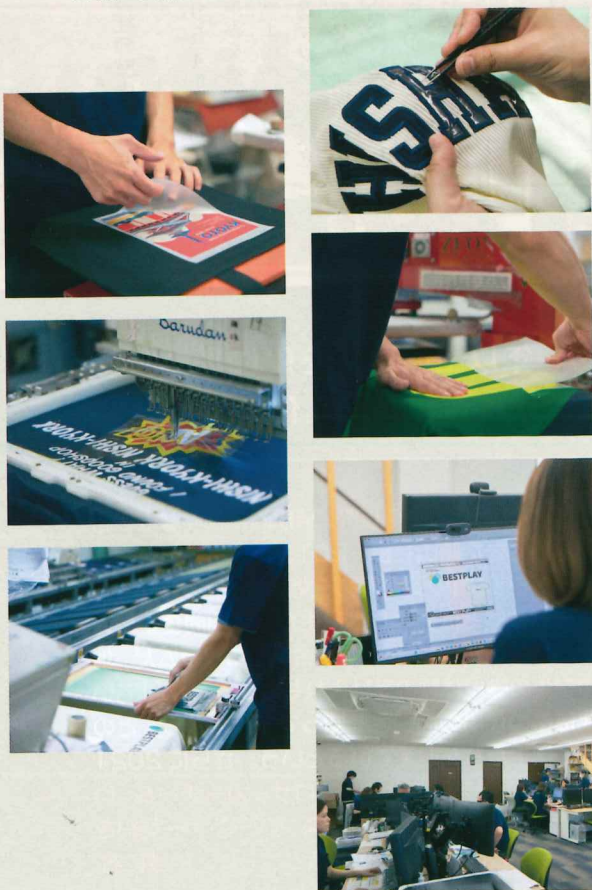
てほしいですね。素敵な取り組みですね。これからは、良い組織になっていくと思いますよ。ありがとうございます。管理者も育っており、組織として安定してきましたので、今後はさらに上を目指して成長していくことがテーマです。具体的には、この2〜3年で市場の拡大を進めつつ、新規事業も育てていきたいと考えています。

最後に、スタッフの皆さんへメッセージをお願いします。当社の理念として掲げている言葉は「人の想いをカタチにする」です。1つ目はおお客様の想い、2つ目は挑戦する想い。そして3つ目として「従業員の想いをカタチにすること、働く喜びを持つ会社」を掲げています。働く喜びは人それぞれですが、「ここで働いて良かった」と皆に思ってもらうことが、経営者としての私の役割。これからの環境づくりに努めていきますので、従業員の皆さんにも主体的に関わっていただき、会社と共に成長していけたら嬉しいですね。

名前が入るその瞬間、 モノは“特別”へと変わる

▼吉田社長は自分たちの仕事を「単なるモノではなく、想いをカタチにする仕事です」と語る。例えばゼッケンやユニフォーム。そこに名前が入ること、一人ひとりにとって特別な意味を持つ存在に変わる。ゲストインタビューの今江氏も選手時代にユニフォームを手にした時の喜びを今でも覚えているという。それは努力の積み重ねや想いがカタチになった証であり、物質的な価値を超えた意味を持つからこそ、人の心を強く動かすのである。

▼町を歩いていると、自転車に乗った野球部の学生を見かけることがある。そのバッグに自社の刺しゅうを見つけたとき、ふと心が温かくなるという。そこには、確かに“使っている誰か”の存在がある。社長は家業に入って間もないころ、その価値に気づいた。そして今もなお、その実感を仕事の軸として大切にしている。



BESTPLAY
有限会社 BESTPLAY
株式会社 BESTPLAY
京都府京都市西京区桂徳大寺北町 79
URL : <https://bpn.jp>